

「第1巻 目次」

解題 一ノ瀬俊也 (3)

資料番号——資料名●編著者名(発行所)●発行年月——復刻版ページ

I 政府の軍事援護政策

- 一——傷痍軍人及軍人遺家族慰恤の考案(中井歩兵大佐講話の要旨)●陸軍恤兵部●一九三三・二——3
- 二——戦没将兵の遺族の為に●陸軍恤兵部●一九三三・七——19
- 三——傷痍軍人の為に●陸軍恤兵部●一九三三・二——31
- 四——傷痍軍人及軍人遺族の為に●海軍省●一九三九・二——45
- 五——銃後援強化週間記録●厚生省●一九三九・三——81
- 六——支那事変軍人軍属ニ関スル戸籍事務通牒回答集●野本定治●一九三九・三——162
- 七——出征軍人戸籍取扱実例完●福井才一郎●一九三九・三——181
- 八——軍人遺家族傷痍軍人帰還(郷)軍人 援護大鑑●陸軍省●一九三九・六——253
- 九——通解軍人援護読本●松本貞水●一九四三・一——332
- 一〇——軍事保護院推薦傷痍軍人結婚物語●大日本傷痍軍人会本部●一九四三・四——406

〔第2巻 目次〕

資料番号—資料名●編著者名(発行所)●発行年月—復刻版ページ

Ⅱ 各地域軍事援護の実際(1)

- 一一—今次事変関係軍人家族遺族扶助等に関する概況第一輯●社会局社会部●一九三七・八—3
- 一二—軍事援護事業概況第二輯●厚生省臨時軍事援護部●一九三八・一—78
- 一三—支那事変軍事援護誌第一輯●岡山県●一九三九・三—205
- 一四—支那事変軍事援護誌第二輯●岡山県●一九四〇・三—306

〔第3卷 目次〕

資料番号—資料名●編著者名(発行所)●発行年月—復刻版ページ

Ⅱ 各地域軍事援護の実際(2)

- 一五—支那事変軍事援護誌第三輯●岡山県●一九四四・一—3
- 一六—支那事変誌(第一輯)●広島県●一九四二・九—98

〔第4卷 目次〕

資料番号——資料名●編著者名(発行所)●発行年月——復刻版ページ

II 各地域軍事援護の実際(3)

- 一七——支那事変銃後後援誌第一編●北海道庁●一九三八・八——3
- 一八——支那事変銃後後援誌第二編●北海道庁●一九四一・三——145

〔第5巻 目次〕

資料番号——資料名●編著者名(発行所)●発行年月——復刻版ページ

Ⅱ 各地域軍事援護の実際(4)

一九——支那事变銃後援護誌第三編●北海道庁●一九四三・一——3

Ⅲ 地域軍事援護の理想像

二〇——滿洲事变に岡山県の生んだ銃後美談第一輯●帝国在郷軍人会岡山支部●一九三三・六——173

二一——社会教化資料第二十二輯銃後美談抄●朝鮮總督府学務局社会教育課●一九三七・一二——229

二二——事变佳話●埼玉県出動将兵援護会●一九三八・六——249

二三——斯くて銃後の護り全し出征将兵軍人遺家族感激譜●島根県情報部●一九三八・一一——281

二四——月刊東奥臨時増刊銃後青森県を語る西郡号●東奥日報社●一九三九・七——296

二五——月刊東奥臨時増刊銃後青森県を語る南郡号(黒石・柏木地方)●東奥日報社●一九三九・九——361

二六——方面委員銃後奉仕実例集●埼玉県方面事業連盟●一九三九・一〇——420

二七——方面叢書第十二輯軍事援護実例(方面委員取扱)●財団法人全日本方面委員連盟●一九四〇・一——432

二八——銃後美談第一輯●恩賜財団軍人援護会鳥取県支部●一九四二・一〇——453

二九——軍事援護事業叢書第一輯遺家族の法律問題(附録 関係法規抜萃)●大阪市役所●一九四三・五——476

〔第6巻 目次〕

資料番号——資料名●編著者名(発行所)●発行年月——復刻版ページ

IV 地域援護に関する諸法規

- 三〇——軍人遺家族後援便覧●支那事变名古屋市後援会●一九三八・六——3
- 三一——軍事援護事務提要●京都府学務部社会課●一九三八・七——30
- 三二——軍事援護事務提要第二輯●京都府学務部社会課●一九三九・三——126
- 三三——軍事扶助並援護ニ関スル執務提要●愛知県軍事援護課●一九三八・一一——201
- 三四——銃後奉公会に就て●東京市役所●(一九三九)——251
- 三五——大阪市の銃後奉公会に就いて●大阪市社会部軍事援護課●一九三九・六——271
- 三六——神戸市軍事奉公会(昭和十四年六月末日以前) 神戸市銃後奉公会(昭和十四年七月一日以後)要覧●一九三九・六——288
- 三七——軍事援護資料第一輯恩賜財団軍人援護会愛知県支部執務提要●恩賜財団軍人援護会愛知県支部●一九三九・八——307
- 三八——銃後奉公会に就て●静岡県軍事援護課●一九四一・四——326
- 三九——軍事援護関係規定●京都市軍事課●一九四四・四——332
- 四〇——軍人援護の根本と銃後奉公会の運営●恩賜財団軍人援護会山口県支部●一九四五・一——342

〔第7巻 目次〕

資料番号——資料名●編著者名(発行所)●発行年月——復刻版ページ

V 地域軍事援護の問題点と取り組み

- 四一——紀元二千六百年記念全国軍人援護事業大会報告書●軍事保護院／恩賜財団軍人援護会●(一九四〇・一〇)——3
- 四二——遺族家族指導嘱託講習会講義録●軍事保護院●一九四一・一〇——110
- 四三——遺族家族指導嘱託講習会講義録●軍事保護院●一九四三・三——194
- 四四——軍事援護功労銃後奉公会及隣組表彰記録●恩賜財団軍人援護会●一九四三・三——267
- 四五——軍事援護功労銃後奉公会表彰録●恩賜財団軍人援護会●一九四四・三——315

〔第8巻 目次〕

資料番号——資料名●編著者名(発行所)●発行年月——復刻版ページ

VI 地域軍事援護担当者のマニユアル

四六——傷痍軍人及軍人遺家族世話係必携●陸軍恤兵部●一九三三・六——3

四七——愛知県軍人遺家族世話係必携●愛知県●一九三五・七——12

四八——鹿児島県軍人遺家族相談所必携●鹿児島県軍人遺家族相談所●一九三九・三——101

四九——軍事援護相談所委員(婦人指導員)必携●岩手県学務部社会課/恩賜財団軍人援護会岩手県支部●一九三九・六——122

五〇——軍人遺、家族身上相談人必携●福島県●一九四〇・三——163

五一——軍人遺、家族相談人指導の手ひき●福島県●一九四二・三——213

五二——軍事援護二関スル精神指導要綱●福岡県●一九四二・七——220

VII 戦後の援護をめぐる

五三——社会部報告第8号戦死戦災死者遺族調査報告●大阪市社会部●一九四六・二——227

五四——戦傷病者戦没者遺族等援護法関係法規集●厚生省●一九五二・六——238

五五——戦傷病者戦没者遺族等援護法関係法規集(追録)●厚生省●一九五二・一〇——288

「第9巻 目次」

資料番号——資料名●編著者名(発行所)●発行年月——復刻版ページ

Ⅷ 前線将兵への慰問誌

- 五六——満洲派遣将士慰問写真帖第二輯●青森県犗軍義会●一九三二・四——3
- 五七——銃後の声●高崎市教育会●一九三二・五——58
- 五八——我等の勇士第一輯●帝国在郷軍人会金橋村分会●一九三七・一一——75
- 五九——めばえ皇軍慰問号●相川尋常高等小学校／相川実科高等女学校●一九三八・二——87
- 六〇——福島県石城郡旧菊多方部出征軍人慰問帖●磐城公論社●一九三八・一〇——122
- 六一——軍事援護通信第一報銃後の大阪東成区版●大阪市役所社会部軍事援護課●一九三九・五——161
- 六二——われらの勇士第六輯●大日本帝国在郷軍人会金橋村分会●一九三九・七——221
- 六三——銃後之浪速●大阪市浪速区役所●一九四一・五——240
- 六四——片瀬町出身将兵ニ対スル御慰問●神奈川県片瀬町銃後奉公会●一九四二・八——319
- 六五——郷土のたより第六輯●山形市銃後奉公会●一九四二・九——361
- 六六——郷土部隊慰問銃後千葉●銃後千葉発行所●一九四三・二——388